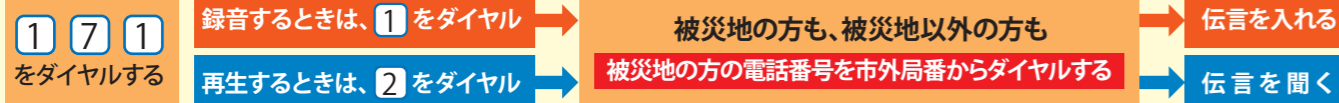


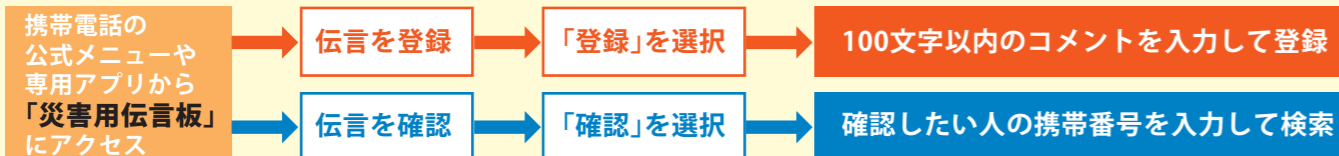
NTT の災害用伝言ダイヤルのかけ方



- このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。
- 毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間・防災とボランティア週間においてお試し利用ができます。

災害用伝言板 (web171)

災害用伝言板(web171)は、インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。



● 家族のデータ & 連絡方法

名前	血液型	生年月日	携帯電話番号	職場・学校	連絡先電話番号

● いざというとき必要な連絡先

名前(施設)	電話番号	住所	連絡の目的
塩竈市役所(災害時専用電話)	022-355-6905	旭町 1-1	災害全般に関すること
防災無線確認電話	022-364-1260	旭町 1-1	防災無線で発信した情報の確認

● 塩竈市の防災に関する情報について

塩竈市ホームページでは、この「防災ガイドブック」で紹介した防災に係わる情報やマニュアル等を公開しています。



二次元コードを読み取り、災害へ備えましょう。

● 「防災投稿ポスト」のご紹介

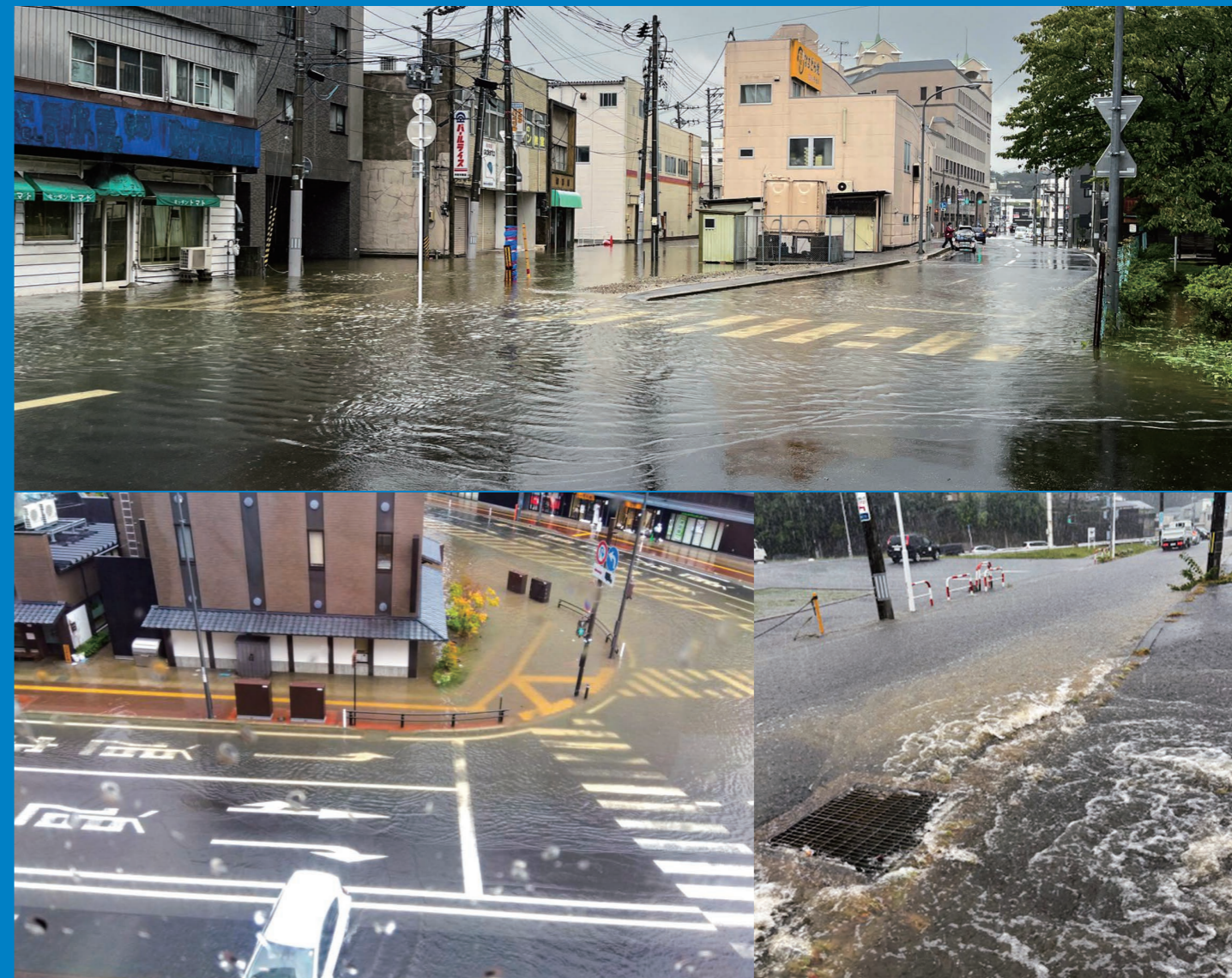
一般の方から広く防災・災害に関する情報を収集するとともに、塩竈市の対応状況について、公式ホームページを通じてお知らせしながら、市民生活の安心・安全に貢献することを目的として運用しております。



二次元コードを読み取り、災害状況や危険箇所の情報をご提供お願いいたします。



内水ハザードマップ



〈令和7年10月1日大雨〉

この内水ハザードマップは、下水道や側溝の処理能力を超える大雨によって浸水が発生した場合に、浸水が想定される区域、浸水する深さ、避難所などの情報をまとめたものです。このマップを活用し、ご自宅などで浸水するおそれがないか、避難所などを確認し、日頃から水害に備えましょう。

下水道課

〒985-0052 塩竈市本町1番1号(壱番館2階北側)
電話：022-364-2193

危機管理課

〒985-8501 塩竈市旭町1番1号(本庁舎2階)
電話：022-355-6491

塩竈市の地形を知る

市の中心部は周囲三方を丘陵で囲まれた地形となっています。また、中央の低地は、排水性に乏しい地形的環境であることに加え、周囲の丘陵の宅地化に伴う流水の保水機能・遊水機能の低下により、浸水災害が発生しています。

市では7箇所あるポンプ場等の根幹施設を整備するにあたり、1時間あたり52.2mmの降雨に対応することを目指して整備を行っています。また、さらなる安全性の向上を図るため、宅内貯留施設の整備にも取り組んでいます。しかし、構造物による対策だけではすべての被害を防げるわけではありません。テレビやラジオで激しい雨の予報に接した時には、避難の準備を行い、安全のための備えを心がけましょう。



雨の強さと降り方

	やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。 ●ゴーゴーと降り続く。	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●車はワイパーを速めても見づらい。	●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路があふれ道路冠水するおそれ、小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

大雨時の防災情報を知る

情報の伝達経路

市からの避難情報は右図のような経路で住民の皆さんに伝達されます。



警戒レベルととるべき行動

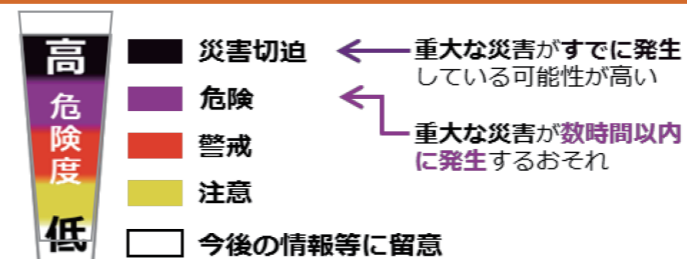
大雨時の防災気象情報は、令和8年出水期から5段階の警戒レベルにあわせて発表される予定です。各レベルととるべき行動を理解して大雨時に適切な行動を行いましょう。

	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	警戒レベル3 高齢者等避難開始	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
浸水害	①大雨注意報が発表されたとき ②浸水キキクルが注意(黄)	①大雨警報が発表されたとき ②浸水キキクルが警戒(赤)	①「大雨危険警報」が発表されたとき ②浸水キキクルが危険(紫)	①大雨特別警報が発表されたとき ②浸水キキクルが警戒(黒)
土砂災害	①土砂災害注意報が発表されたとき ②土砂キキクルが注意(黄)	①土砂災害警報が発表されたとき ②土砂キキクルが警戒(赤)	①土砂災害危険警報が発表されたとき ②土砂キキクルが危険(紫)	①土砂災害特別警報が発表されたとき ②土砂キキクルが警戒(黒)
とるべき行動	避難に時間を要する人は早めに避難行動を確認する	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保!

キキクル(危険度分布)

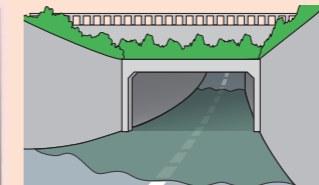
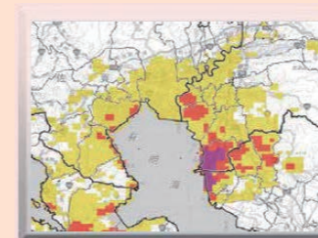
キキクル(危険度分布)は、大雨による災害から、あなたやご家族の大切な命を守るための気象庁が公開している情報です。

危険度を5段階に色分けして表示



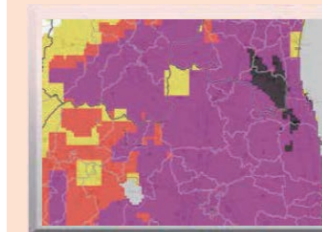
※洪水警報の危険度分布の「今後の情報等に留意」は水色表示となっています。

浸水害



命に関わる場所
道路のアンダーパスや地下室など。

土砂災害

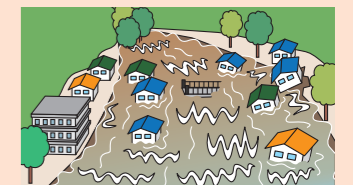


命に関わる場所
がけや溪流の付近など。

洪水



※河川の水位も「川の防災情報」で確認してください。



命に関わる場所
山間部の河川沿いの区域深く浸水する区域など。

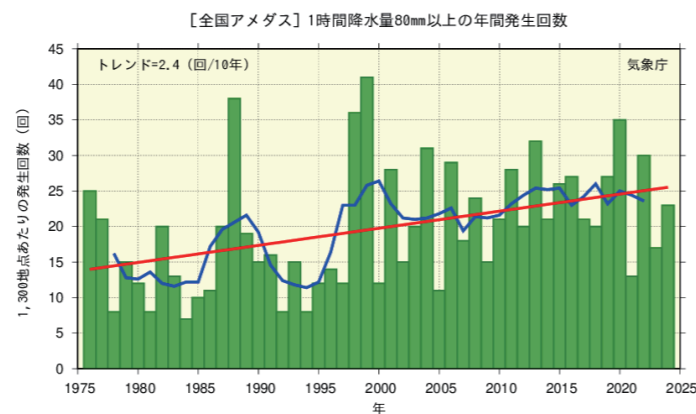
防災情報の入手先を知る

塩竈市ホームページ 市からの情報が確認できます。		塩竈市指定避難所 市内の指定避難所の位置が確認できます。	
宮城県土砂災害 土砂災害警戒情報、土砂災害警戒区域が確認できます。		天気予報【日本気象協会】 1時間後の天気、降水量、風力などがわかります。	
警報情報【気象庁】 塩竈市の警報・注意報などがわかります。		台風情報【気象庁】 台風の位置、進路、強さなどがわかります。	
キキクル（危険度分布） 大雨による地域の危険度が確認できます。		高解像度降水ナウキャスト 降水の短時間予報が確認できます。	

コラム

大雨の発生回数

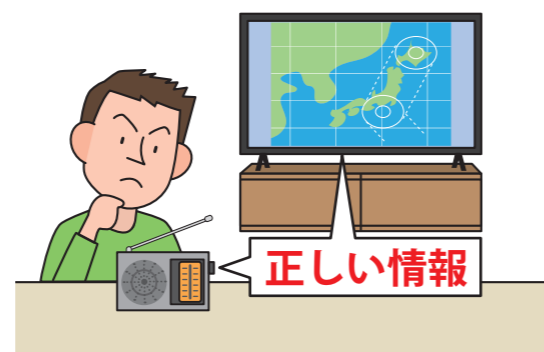
大雨の年間発生回数は増加しており、より強度の強い雨ほど増加率が大きくなっています。1時間降水量80mm以上、3時間降水量150mm以上、日降水量300mm以上など強度の強い雨は、1980年頃と比較して、おおむね2倍程度に頻度が増加しています。



線状降水帯

線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される強い降水をとまなう雨域です。

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけがあったときは、市が発令する避難情報や大雨警報やキキクル(危険度分布)等の防災気象情報と併せて活用し、自ら避難の判断をしましょう。



避難について考えましょう

避難に備えて

1 安全な避難所の確認



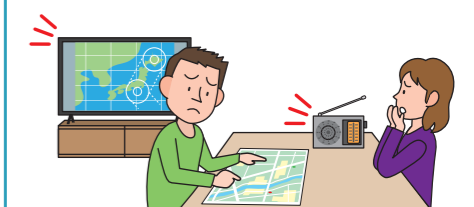
家族で避難所を確認しておきましょう。避難所まで安全に通行できるかを確認しておきましょう。

2 非常持出品の事前準備



すぐ避難できるように、最低限必要なものを用意しておきましょう。

3 正確な情報収集と早めの行動

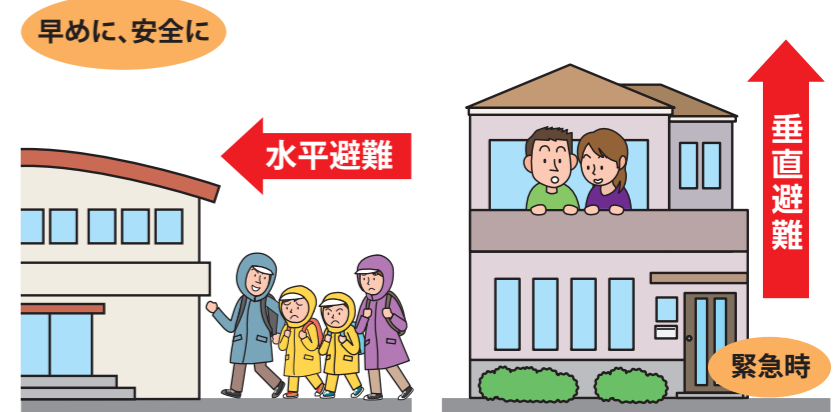


ラジオ、テレビで情報を確認し、危険を感じたら早めに行動しましょう。

● 避難行動

避難行動には、市が指定する避難所や安全な親戚・知人宅、安全なホテルへの立退き避難(水平避難)と、自宅の2階以上など屋内の高いところに避難する屋内安全確保(垂直避難)があります。

すでに浸水が始まっている場合や、夜間の場合は避難に危険を伴うので、状況に応じて、自宅の2階以上など屋内の高いところに屋内安全確保(垂直避難)しましょう。



避難時の心得

夜間は危険！

夜間の避難は足元が見えにくく危険です。立退き避難は明るいあいだに行動しましょう。



非常持出品の用意！

非常持出品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



外出中の家族には連絡メモを残そう！

「〇〇へ避難する」といったようなメモを家の中に残しておくといいでしょう。



集団で助け合おう！

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



避難は安全ルートで！

川べり、橋、地下道、がけの近くなど危険な場所を避け、安全な広い道で避難しましょう。

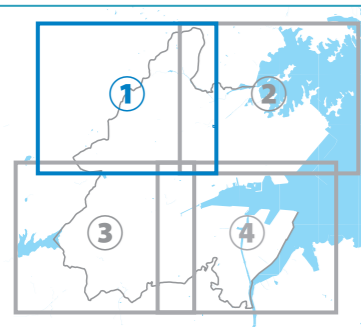
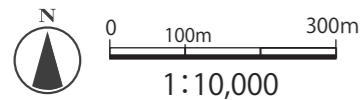


避難所では係の人の指示に従いましょう！

避難所等に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。



内水ハザードマップ①

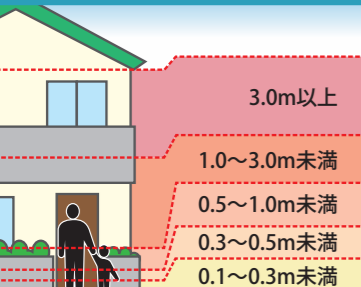


この地図は、大雨によって内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域と浸水の深さを示したものです。ここでの大雨とは、想定される最大規模のものとし、令和元年東日本台風時の雨の降り方を基に設定したピーク時の1時間に120mm・総雨量353mmの降雨としています。

※このシミュレーションの実施にあたって、地形や地盤高の情報は、国土地理院より公開されている数値標高モデル(5mメッシュデータ)を使用しています。したがって、実際の地形と比較し、地形や地盤高が異なる場合があります。

※国土交通省が作成した、「浸水想定(洪水・内水)の作成等のための想定最大外力の設定方法 H27.7月」より、本市の最大降雨量は120mm/hとなる。

浸水深による色分け



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- ポンプ場
- 救急告示病院
- 標高

土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害警戒区域のデータ時期(令和7年12月時点)

急傾斜地の崩壊

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

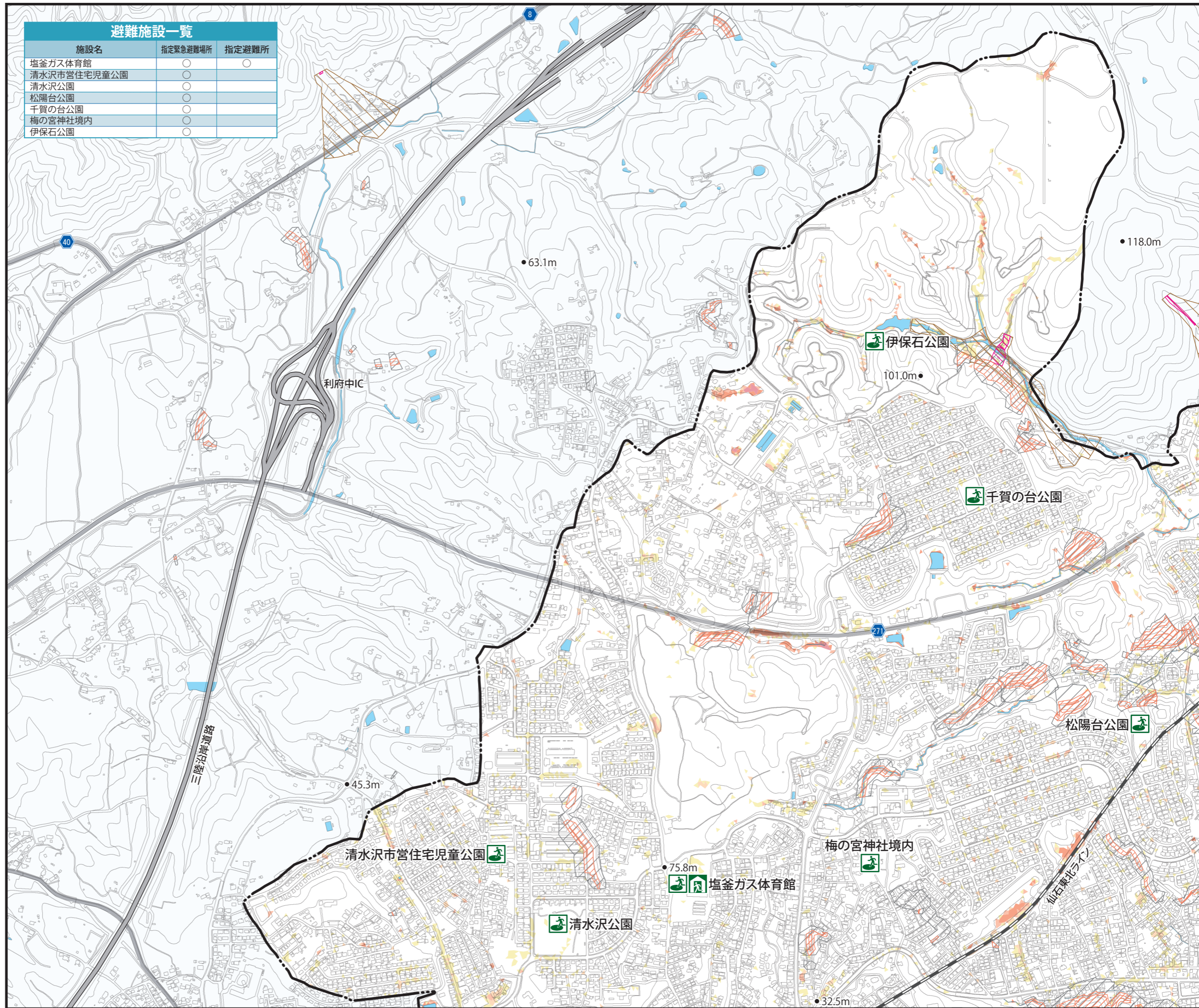
土石流

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

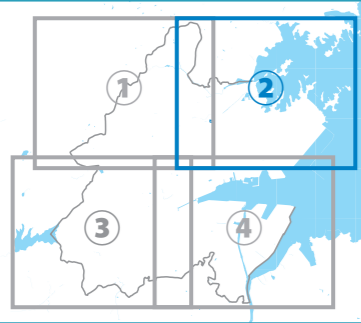
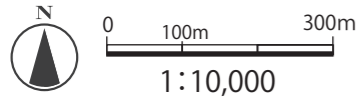
浸水想定区域内の要配慮者利用施設は、市のホームページに掲載しています。

・地盤高情報については、令和6年3月時点の国土地理院公表資料を使用
 ・地形図情報については、令和7年10月時点の国土地理院公表資料を使用

施設名	指定緊急避難場所	指定避難所
塩釜ガス体育館	○	○
清水沢市営住宅児童公園	○	○
清水沢公園	○	○
松陽台公園	○	○
千賀の台公園	○	○
梅の宮神社境内	○	○
伊保石公園	○	○



内水ハザードマップ②

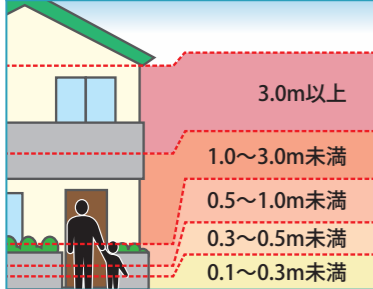


この地図は、大雨によって内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域と浸水の深さを示したものです。ここでの大雨とは、想定される最大規模のものとし、令和元年東日本台風時の雨の降り方を基に設定したピーク時の1時間に120mm・総雨量353mmの降雨としています。

※このシミュレーションの実施にあたって、地形や地盤高の情報は、国土地理院より公開されている数値標高モデル(5mメッシュデータ)を使用しています。したがって、実際の地形と比較し、地形や地盤高が異なる場合があります。浸水状況が変わる可能性があります。

※国土交通省が作成した、「浸水想定(洪水・内水)の作成等のための想定最大外力の設定方法 H27.7月」より、本市の最大降雨量は120mm/hとなる。

浸水深による色分け



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- ポンプ場
- 救急告示病院
- 標高

土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害警戒区域のデータ時期(令和7年12月時点)

急傾斜地の崩壊

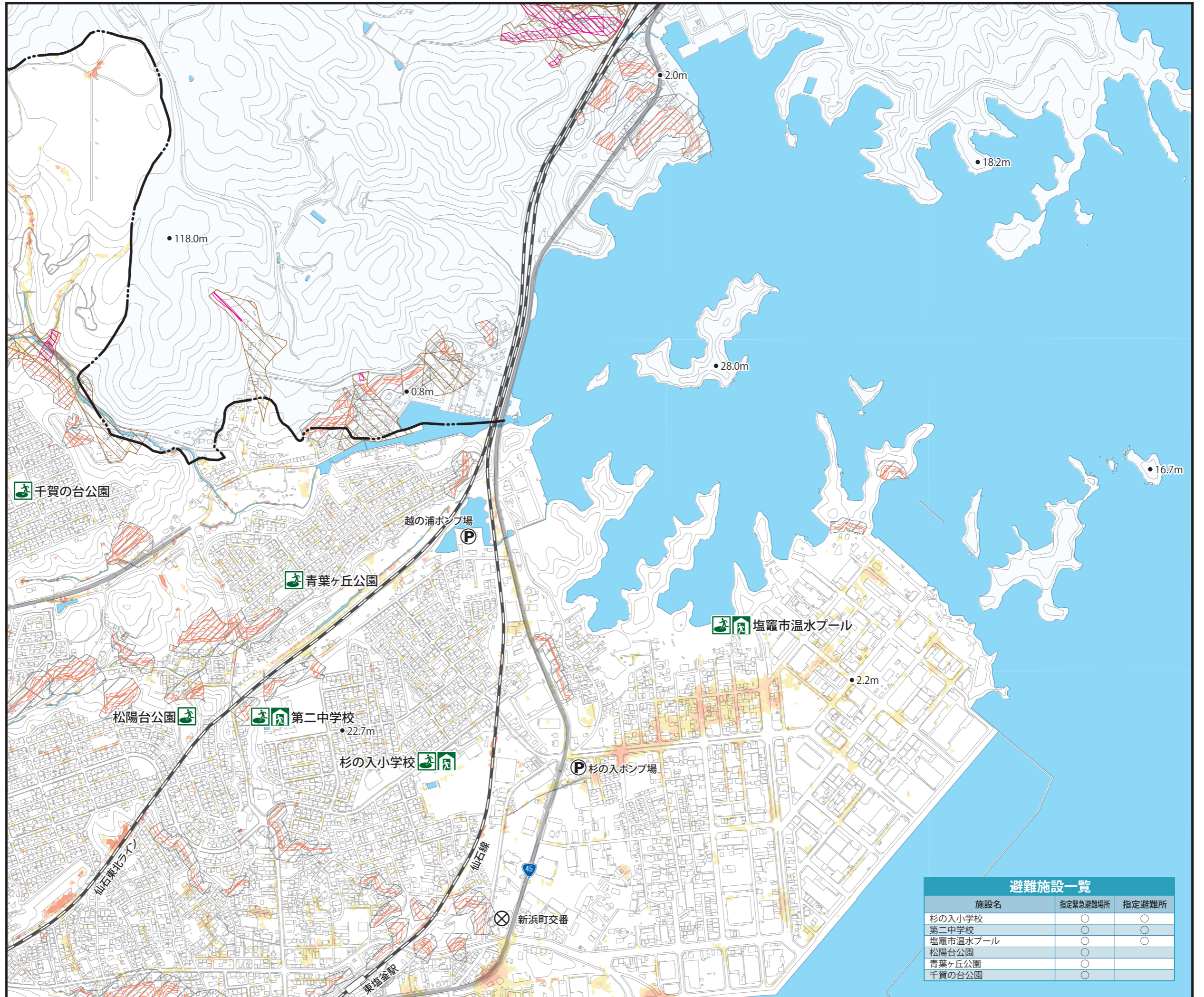
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

土石流

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

浸水想定区域内の要配慮者利用施設は、市のホームページに掲載しています。

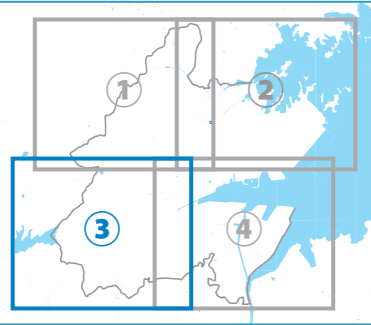
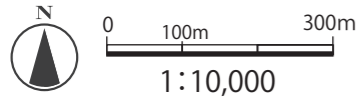
・地盤高情報については、令和6年3月時点の国土地理院公表資料を使用
 ・地形図情報については、令和7年10月時点の国土地理院公表資料を使用



避難施設一覧

施設名	指定緊急避難場所	指定避難所
杉の入小学校	○	○
第二中学校	○	○
塩竈市温水プール	○	○
松陽台公園	○	○
青葉ヶ丘公園	○	○
千賀の台公園	○	○

内水ハザードマップ③

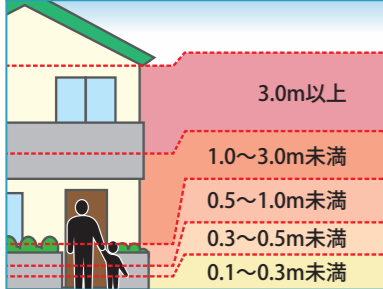


この地図は、大雨によって内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域と浸水の深さを示したものです。ここでの大雨とは、想定される最大規模のものとし、令和元年東日本台風時の雨の降り方を基に設定したピーク時の1時間に120mm・総雨量353mmの降雨としています。

※このシミュレーションの実施にあたって、地形や地盤高の情報は、国土地理院より公開されている数値標高モデル(5mメッシュデータ)を使用しています。したがって、実際の地形と比較し、地形や地盤高が異なる場合があります。浸水状況が変わる可能性があります。

※国土交通省が作成した、「浸水想定(洪水・内水)の作成等のための想定最大外力の設定方法 H27.7月」より、本市の最大降雨量は120mm/hとなる。

浸水深による色分け



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- ポンプ場
- 救急告示病院
- 標高

土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害警戒区域のデータ時期(令和7年12月時点)

急傾斜地の崩壊

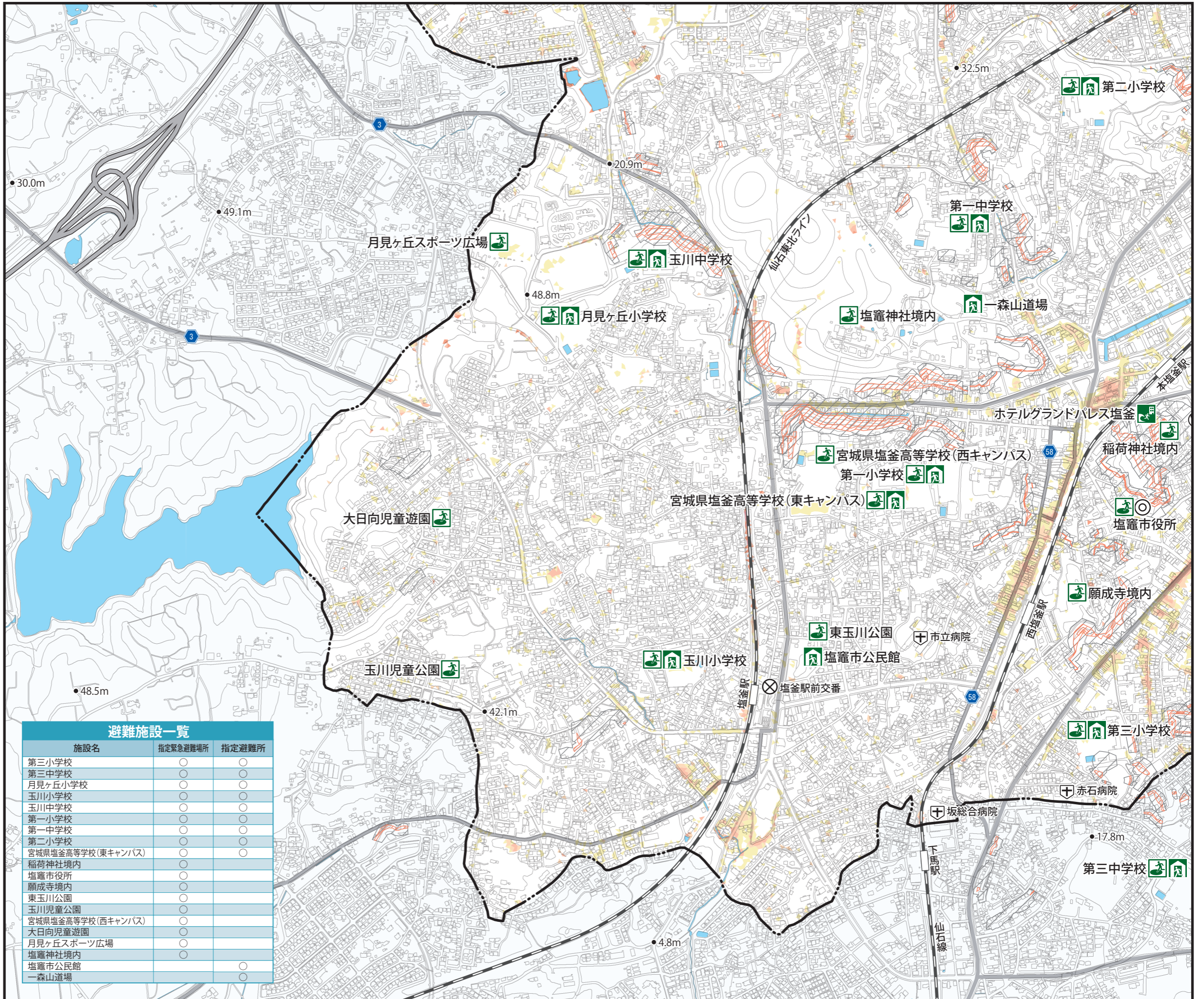
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

土石流

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

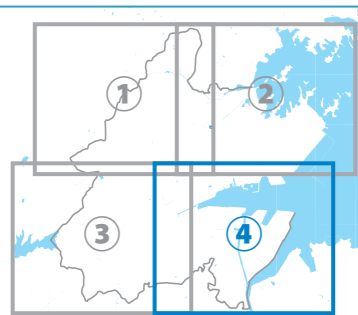
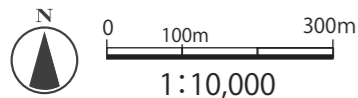
浸水想定区域内の要配慮者利用施設は、市のホームページに掲載しています。

・地盤高情報については、令和6年3月時点の国土地理院公表資料を使用
 ・地形図情報については、令和7年10月時点の国土地理院公表資料を使用



施設名	指定緊急避難場所	指定避難所
第三小学校	○	○
第三中学校	○	○
月見ヶ丘小学校	○	○
玉川小学校	○	○
玉川中学校	○	○
第一小学校	○	○
第一中学校	○	○
第二小学校	○	○
宮城県塩釜高等学校(東キャンパス)	○	○
稲荷神社境内	○	○
塩釜市役所	○	○
願成寺境内	○	○
東玉川公園	○	○
玉川児童公園	○	○
宮城県塩釜高等学校(西キャンパス)	○	○
大日向児童遊園	○	○
月見ヶ丘スポーツ広場	○	○
塩釜神社境内	○	○
塩釜市公民館	○	○
一森山道場	○	○

内水ハザードマップ④

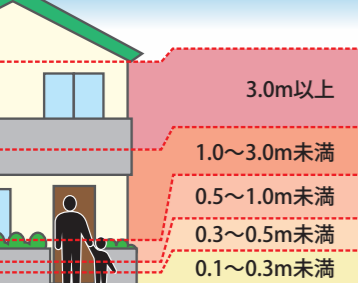


この地図は、大雨によって内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域と浸水の深さを示したものです。ここでの大雨とは、想定される最大規模のものとし、令和元年東日本台風時の雨の降り方を基に設定したピーク時の1時間に120mm・総雨量353mmの降雨としています。

※このシミュレーションの実施にあたって、地形や地盤高の情報は、国土地理院より公開されている数値標高モデル(5mメッシュデータ)を使用しています。したがって、実際の地形と比較し、地形や地盤高が異なる場合があります。浸水状況が変わる可能性があります。

※国土交通省が作成した、「浸水想定(洪水・内水)の作成等のための想定最大外力の設定方法 H27.7月」より、本市の最大降雨量は120mm/hとなる。

浸水深による色分け



凡例

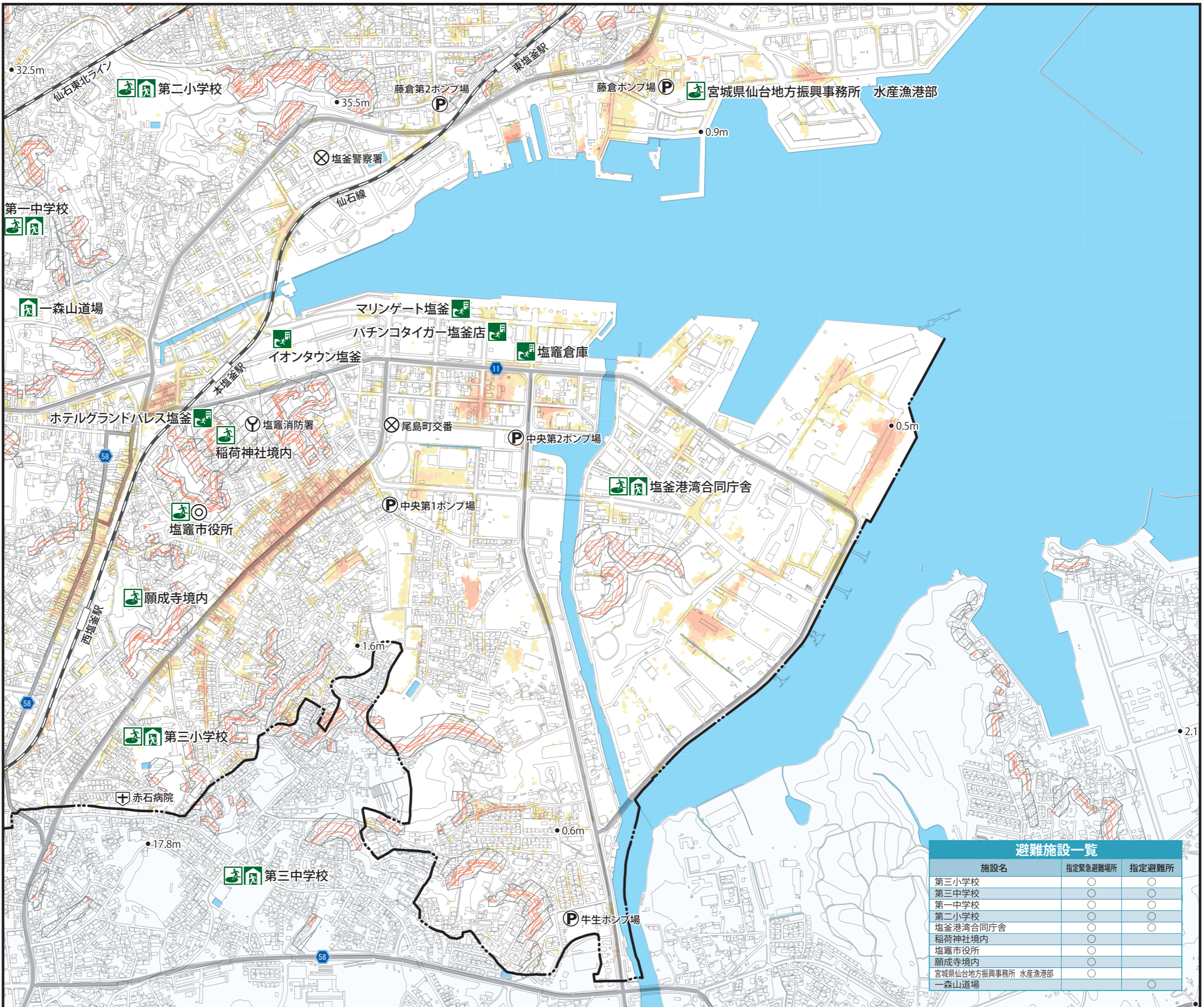
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- ポンプ場
- 救急告示病院
- 標高

土砂災害(特別)警戒区域

- 土砂災害警戒区域のデータ時期(令和7年12月時点)
- 急傾斜地の崩壊
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
- 土石流
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域

浸水想定区域内の要配慮者利用施設は、市のホームページに掲載しています。

・地盤高情報については、令和6年3月時点の国土地理院公表資料を使用
 ・地形図情報については、令和7年10月時点の国土地理院公表資料を使用



施設名	指定緊急避難場所	指定避難所
第三小学校	○	○
第三中学校	○	○
第一中学校	○	○
第二小学校	○	○
塩釜港湾合同庁舎	○	○
稲荷神社境内	○	○
塩竈市役所	○	○
願成寺境内	○	○
宮城県仙台地方振興事務所 水産漁港部	○	○
一森山道場	○	○

非常持出品を準備しましょう

災害が発生し、水道施設等が使用できなくなったり、道路が破損して防災機関による救援活動が間に合わない場合があります。災害発生後の数日間は自分で準備した備蓄品等で対応しましょう。

- 災害発生時に最初に持ち出す「非常持出品」と復旧するまでの数日間に必要な「非常備蓄品」に分けて準備する。
- 乳幼児や要支援者がいる家庭では、各家族の事情に合わせて準備する。
- 災害発生から数日間は、行政やよその地域からの援助が難しいため、非常備蓄品は最低3日分、推奨1週間分を準備する。
- 使用できるかどうか定期的に点検する。特に食品や飲料水は、消費期限等をチェックする。



☑ 非常持出品 (最低限そろえておきたいもの) ~そろえたものにはチェックマークを入れましょう~	
<input type="checkbox"/>	懐中電灯 (ヘッドライト) 一人にひとつ用意。アウトドア用のヘッドライトを推奨。予備の電池も忘れずに。
<input type="checkbox"/>	貴重品 多少の現金、預貯金通帳、印鑑、マイナンバーカード、住民票のコピー等 公衆電話を利用するための10円玉
<input type="checkbox"/>	救急医薬品 傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬等のほか、持病薬、おくすり手帳は必ず用意する。
<input type="checkbox"/>	携帯ラジオ 小型で、AMとFMが聞けるもの。手動で充電できるもの、携帯電話の充電ができるラジオも便利。エフエムベイエリア (78.1MHz) で塩竈市の防災情報を放送します。
<input type="checkbox"/>	非常食・水 缶詰やアルファ化米等、火を通さずに食べられるもの
<input type="checkbox"/>	高齢者 着替え、おむつ、ティッシュ、持病薬 等
<input type="checkbox"/>	障がい者 障がい者手帳、補助器具、介護食 等
<input type="checkbox"/>	乳幼児 ミルク、ほ乳びん、離乳食、おむつ、おんぶひも、ベビー毛布 等
<input type="checkbox"/>	妊産婦 脱脂綿、ガーゼ、サラシ、T字帯、新生児用品 等
<input type="checkbox"/>	その他 ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュ、使い捨てカイロ、筆記用具等 感染症対策グッズ(マスク、手指消毒液、除菌シート、体温計等)

※各家族の事情に合わせて準備する。

☑ 非常備蓄品 (災害後にそなえるために) ~備蓄したものにはチェックマークを入れましょう~	
<input type="checkbox"/>	食糧品 缶詰やレトルト食品等の非常食は最低3日分、推奨1週間分を準備する。高齢者や子ども、アレルギー体質者等、配給される食糧で食事をとることが難しい家族がいる場合は、その事情にあった食糧を多めに用意する。
<input type="checkbox"/>	水 飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安。最低3日分、推奨1週間分用意する。
<input type="checkbox"/>	燃料 卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベ等。自家用車の燃料を常に確認しておく。
<input type="checkbox"/>	工具 ロープ、バール、はさみ、ジャッキ、スコップ等
<input type="checkbox"/>	その他 簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、予備のメガネ等

日常で食べているものを消費しながらストックする「ローリングストック」

蓄える→食べる→補充することを繰り返しながら常に一定量の食品を備蓄する方法をローリングストックといいます。

ふだん食べているカップめんや缶詰、インスタント味噌汁など少し多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費し、食べたならその分を買い足すだけです。



大雨に備える

家のまわりの備え

- 外壁**
 - モルタルの壁に亀裂はありませんか
- 屋根・雨どい**
 - 不安定なアンテナはありませんか
 - トタンがめくけていませんか
 - 瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
 - 雨どいにゴミや木の葉は溜まっていますか
- ベランダ**
 - 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか
- 板塀**
 - 板塀に腐りや浮きはありますか
 - 板塀に支柱はありますか
- その他**
 - ガスボンベは固定していますか
 - 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
 - ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
 - 庭木には添え木をしていますか
 - 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか
- ブロック**
 - 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか
- 排水溝**
 - 側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか
- 窓**
 - 窓枠のガタツキはありませんか
 - 雨戸にガタツキはありませんか

道路などからの浸水を防ぐ

- 土のう**

出入口にブルーシート等で包んだ土のうを置き、雨水の侵入を防ぎます。
- 止水板**

出入口に長めの板等を設置して、土のう等で固定し、侵入を防ぎます。
- 側溝や雨水ますの集水工の確認**

道路の側溝や雨水ますの集水口(グレーチング)に落ち葉などが詰まっていないか確認しましょう。
- 土のう代用品**
 - 水のう
 - ポリタンク
 - プランター

防災訓練に参加しましょう

市・防災関係機関と地域住民が一体となった防災訓練を実施しています。いざというときに、慌てず安全に行動できるように防災訓練に参加しましょう。

